



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2022nd

令和5年1月10日

1月号

横浜市立滝頭小学校
校長 金子 郁規

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands , Shining Smiles , We ♡ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345 Fax 045-761-9392
URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

「国語力の大切さ」

校長 金子 郁規

3年ぶりに行動制限の無い年末年始でした。感染防止対策を取りながら旅行や帰省された方も多かったのではと思います。学校でも教育活動の制限がさらに緩和されていくことと思います。本年もよろしくお願いいたします。

私は、冬休みに学校地域協働本部と学校運営協議会会長の青木さんから紹介された「ルポ誰が国語力を殺すのか」(石井光太著)という本を読みました。いじめやネットトラブル、ゲーム依存、少年非行などは、子どもたちの国語力の低下と因果関係があると書かれていました。子どもたちの国語力が本当に低下しているのかは、多くのデータを検証する必要があると思います。しかし、現代の子どもたちは、新しい特殊な言語環境で生活していると私も思います。

ネットトラブルの一つにSNSがあります。LINE、Facebook、TikTok、Instagramがその代表です。その中で子ども同士のコミュニケーションは、短文テキスト形式で主語や修飾語が無いことが多いです。また、相手の顔も見えないので互いの気持ちが相手に正しく伝わらないことがあります。そして、トラブルになると「消えろ」「殺す」「死ぬ」など、極端な言葉を安易に使ってしまいがちになります。オンラインゲームでのボイスチャットでも、多くのトラブルが起っています。ゲームに夢中になっているが故に、感情を吐き捨てるような言葉の暴力が日常用語となっています。そして、このような子どもたちの特殊な言語環境でのトラブルは、我々大人からは見つけにくくなっています。

言葉は人と人をつなぐものであると思います。そして、他者への思いやりがあると、相手の意見を尊重したり、自分との違いを理解したりして言葉の選び方に気をつけるようになります。

しかし、言葉は使い方によっては人の心を粉々に砕き、人を死に追いやるような暴力性があります。私たち大人は、言葉がもつ危険性についても子どもたちに教えていく必要があると思います。

「国語力」とは「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」の四つが中核であり、それを支える基盤となるのは、「国語の知識」「教養・価値観・感性等」とであると文科省が定めています。子どもたちの国語力を育てていくために、学校現場として全ての授業はもちろんですが、学校生活での全ての活動を体験学習として捉えていきます。ご家庭でも、お子さんの話を聴いたり会話したりする時間をこれからも大切にしていきたいと思っています。

子どもたちの国語力を育てることは、子どもたちの幸せな人生に繋がると私は思っています。そして、学校と家庭と地域が同じ思いや願いをもって子どもたちを育てていくことが大切だと思います。本年も、教育活動へのご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。